



## 「田舎の進学校」における 夏休みを前に今年も一言



例年の小言——会津高校の夏休みは短い（無い）。本来なら、8月いっぱい、十分に休んで9月から新学期といきたいところだ。欧米では6月に学年終了、9月に新学年がスタートするまで2月以上の長い休みが当たり前。なのに、なんだあ！このクソ暑い時期に、補習だの模試だのほとんど休みがな～い！

欧米と比較したところで、学年周期が違う以上どうしようもない。じゃあ、国内的にはどうなのか…上級生ほど理解していると思うが、何のことはない、田舎の進学校は予備校の代わりをしなければならないのである。

会津盆地を取り囲む山の向こうには、各学年数十万人の敵（仲間？）がいる。進学校と呼ばれる高校の多くは人口集中地域にあり、当然、そこには数々の塾や予備校がある。受験を控えた高校生は、長期休業中（平日もそうだが）志望実現のためにそれを利用する。

田舎は違う。会津高校生や他校の進学希望生徒をまるまる引き受けられるところはない。だから、学校がやる。地方によっては高校4年生（浪人生）が通う学校もかつて存在した。みんな、都市部に負けないようにがんばっているのだ。

さあ、会高生みんな、こうした現状を納得したうえで夏休みを過ごそうじゃないか！それぞれが、進路実現のために必要なことを発見、自覚し、少しでもそれを実践するべく努力するのだ。はっきりしたものでなくてもいい。「主体的に」動く姿勢が大事なから。

### 復活！オープンキャンパス ～志望校を自分の目で確かめよう！のススメ～

さて、例年、この長期休業中にみんなにたあ～くさんやってほしいことがある。学力向上、普通（特別）活動、家庭生活、進路学習 etc.

その第一がキャンパス見学。本音を言えば、進学先を選ぶために、会津高校生全員にキャンパス見学に行きたいと願っている。人から聞く情報より、**自分の目で確かめた情報こそ、最も信頼できるから**だ。キャンパスを見て、講義を受けて、「**ああ、ここで大学生活を満喫したいな～!**」という願いこそ、志望大学決定の第一条件にするべき。ちなみに、進路室前には数々のオープンキャンパスの案内が掲示してあるが、「オープンキャンパス」と銘打った日でなくとも、何でも**ごく普通の日**に大学を訪ねてみるのが、その大学の**雰囲気を知るのには一番**。かく言う私も高校時代そうして志望校を決めたっけ…。

3年生は夏休みの多くが補習等に当てられているので、自由に動くにはちょっときついかもかもしれないが、**1・2年生で、部活動等であまり縛りのない状況があるなら、直接見てくるのがオススメ**だ。とはいえ、**3年生にしても、入学以来コロナ禍でほぼ大学見学を経験していないので、やはり時間を見つけて確かめてほしい**。

今年は、ほとんどの大学でコロナ禍以前のオープンキャンパスを実施。全国で3学年一斉に参加することになるので、あちこちで大盛況になるのは必至だ。**自分の目で確かめた3年生は、これまで以上に強い意志を持って受験対策に臨むだろう**。さあ、負けてられないぞ、会津高校生！！！！

ちなみに、直接足をのばせない場合には、オンラインでのオープンキャンパスもある。**HPにアクセスして情報を取得したり、進路室にあってりする各大学の案内を見るのも大事な動き**。ウェブのみであれば、**多くの疑似体験を直接体験に替える**。さらに、家族等で相談のうえ、**サラッとロケーションを確認して**

ることもありだろう。みんな知ってた？「日本」って結構広いんだよ！魅力ある地域もいっぱいある！  
——ま、とにかく、**直接体験を第一に、情報と機会を最大限に活用すべく自ら工夫すること**が大切だな——

## 【 各学年へ一言・二言・三言 】

**3年生へ！**：●共通テストまでおよそ190日。各科目の出題内容や配点・時間については、昨年と変わらない。レベルは当初の予定通り、平均点が6割を切る程度で安定することが予想される。この休みから、共通テストの得点力、高いレベルを目指す者は二次力を磨くことに全力を傾ける時が来ている！

主  
体  
的  
ダ  
ッ  
シ  
ュ  
！

●AO(総合選抜型)入試や推薦(学校推薦型)入試は、今年も定員が増えていく。活用するなら、絶対的な適性、書類の作成力、面接力を磨かなければならない。その大学・学問系統に対してどれくらいの「資質」があるのか、自分を客観的に見る力が必要だ。十分な根拠のない自信や自己主張では、学力アップの時間を無駄にするばかりでなく、母校の名誉を傷つけることにもなる。よ〜く考えて、相談すべし！

●三者面談が始まる。この時期、志望の方向性確認が主になるだろう。もともと進路志望が具体化しているなら、受験方法や目標レベルの目安を確認。まだまだ「なんとなく」の段階なら、次の面談までの考え方を確認。なにより、自分の人生の節目を迎えるわけだから、親や先生に頼りっぱなしではなく、会高生らしく主体的な姿勢で臨むことが大切だ。

**2年生へ！**：●中堅学年は、「もっとも動ける」学年でもある。高校生活のリズムを確立し、自分のペースで学習に取り組む。進路目標も少しずつ具体化し、力を入れるべきこともわかってくる。それにより、ますます日常の活動意欲が増して、自ら学校生活を楽しむことができる——というのが理想。

な  
ん  
で  
も  
全  
力  
！

●3年生の多くが引退し、部活動でも中心的役割を担うようになっていく。8月後半からは各種目で新人戦も本格化する。自分を見つめ客観的に理解し、進路選択に役立つように、この状況下で可能な限りさまざまな活動に取り組もう。

●進路日より第1号にもあるように、「進路目標や達成方法の具体化」にも努めてほしい。進路の方向性が何となく見えてきたら、その達成手段をイメージしよう。大学進学がメインだから、大学・学部・学科・試験方法を調べるのは基本中の基本だね。

●でも、なかなか意識が高まらない人は多いよね。まあ、すでに文理分けをしたクラスにいるわけだけど、それだけで最終的な進路の方向性を絞る必要はない。大切なのは、自分の特性をどんな形で生かすことが社会貢献につながるのか気づくことだ。広い世界にはその「気づき」が早い人もすごく遅い人もいる。自分にはまだまだ難しいと思うなら、「どうしていいのかわからない」などと言い訳をせず、とりあえず目の前の学習やその他の活動に全力を注いで「気づき」につなげることだ。

**1年生へ！**：●前期中間考査を終えて、自分の甘さに気づいた人も多だろう。部活動との両立に悩み始めた人もいるだろう。第2号にもあるように、それは若さの特権だ。悩んでいい。悩みながらも常にプラス思考で自分という人間を客観的に評価すること。第1号で述べた1年生の進路段階目標「自分を知ること」につながる。



思  
考  
！

「やっぱり人間相手の仕事がいいよなあ」「この分野を専門に研究してみたい」

「アイディアを生み出すのが好き」「ものづくりでしょ」「体が資本かな」「芸術！」

「結構リーダーシップいけるんじゃないかね？」「地道に事務仕事かな」——などなど。

高校生活のリズムを徐々に確立しながら、進路目標設定につなげていこう！物事を単純にとらえることも大切だし、休み明けの生活にさらに前向きに取り組むためにも、プラス思考は必須アイテムだ！

●すでに文理選択のガイダンスを受けているわけだが、さまざまな進路の道筋や世の中の仕組みを知ることが進路目標設定の基本となる。会高生らしく、ガイダンスを生かしてさらに自分で探っていく姿勢がほしい。実際、進路決定ばかりでなく、人生を生き抜く中で主体性の欠如から「知らないまま」いたことを後悔するケースが多いのだ。